

みんなでやろう！

プロジェクト ごみ削減

毎日 81g

問 廃棄物対策課管内線 15711573

牛久市のごみ処理事情 (平成29年度)

牛久市のごみ排出量
2万8,536トン

クリーンセンター維持管理費
約**6億7,700万円**

焼却灰処理費
約**9,500万円**

収集運搬費
約**2億2,100万円**

ごみ処理経費
計 約**9億9,300万円**

平成18年度以降少しづつ増えています

市では、平成23年度に策定した牛久市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画で、廃棄物の減量化・資源化や適正な処理を推進するために、数値目標を設定しています。

平成32年度目標
家庭ごみ排出量を
一人1日あたり**519g**に
(資源物は除く)

平成29年度実績 **600g** **81g削減** 平成32年度目標 **519g**

市のごみ処理には税金が使われます。一人ひとりがごみを減らすことで、削減できるごみ処理費があり、限られた予算を福祉や教育などさまざまな分野に有効活用することができます。みんなでごみの減量や環境対策に取り組んでいきましょう。

ごみ処理経費を
年間合計 約**5,200万円**
削減できる！

一人ひとりが
毎日あと**81g**
減らすと…

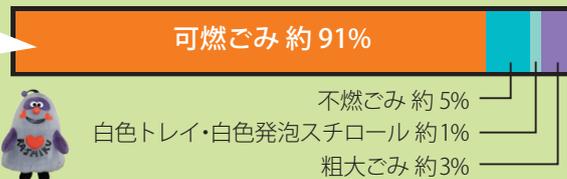
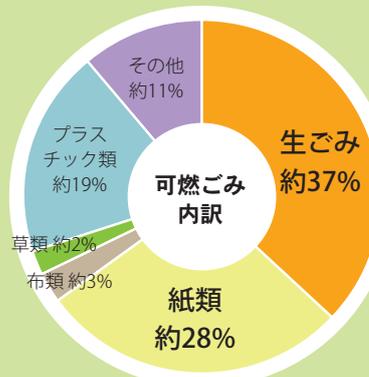
例えば81gは…

- なす1本分
- ピーマン2個と半分
- 牛乳パック2個と半分
- ティッシュの空き箱2個と半分

ばん

家庭から出されるごみ全体の
約91%を可燃ごみが占めています。

家庭ごみ(1万8,635トン)内訳グラフ



円グラフの通り、可燃ごみは、生ごみと紙類が全体の**65%**を占めています。ごみ処理経費を減らすためには、**まずは生ごみ・紙類の減量が大きなポイントになります!**

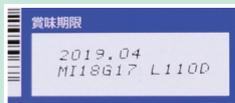
みんなで**ごみダイエット**に挑戦しよう!

生ごみの減量

生活の中でどうしても出てしまう生ごみも、ほんの少しの心がけで簡単に減量できます。

使い切り

賞味期限は「おいしく食べることができる期限」のこと。この期限が過ぎたからといって食べられなくなるわけではありません。使わずに捨てる食材はなくしましょう。



消費期限 18.09.04

※消費期限は「安全に食べられる期限」

食べ切り

その日の状況にあった料理を心がけ、食べる量を考慮して献立を決めましょう。残り物は冷凍庫を有効に活用してリメイクするなど、残さずきれいに食べきましょう。



※実際に捨てられていた生ごみ

水切り

生ごみの約80%は水分です。ごみ箱に入れる前に水切りをすることで、生ごみの10%弱の重量を減量できます。水分をしっかり切ることで、ごみの悪臭や腐敗防止の効果もあります。



紙ごみの減量

資源物として分別できるものはありませんか? 雑紙を分類し可燃ごみを減らしましょう。

なるほど!



紙袋に雑紙をためていけば簡単! 紐で縛ってそのまま集積所に出せます。

出す日: 資源物の日

資源になる雑紙類

折り込みチラシ、パンフレット、紙袋、紙箱、コピー紙、包装紙、トイレトペーパーの芯、セロハン部分を取り除いたティッシュボックス、金具部分を外したカレンダーなど

ごみの減量は経費削減だけでなく、温暖化や大気汚染など地球規模の大きな問題の対策にもなります。私たちの暮らしを守るためにも、一人ひとりが少しずつでもごみを減らすよう、心掛けていきましょう。

まずは身近なことから始めましょう

耳より情報

ごみの減量に対して**各種補助金**があります！



★ 生ごみ処理容器等設置及び修繕事業補助金交付制度

生ごみ処理容器・機器の購入や修繕に対し、その費用の一部を補助します。

補助金額

生ごみ処理機器 (電気、機械式)

購入

1世帯1基まで
購入価格の1/2
(上限2万円)

修繕

1世帯1基まで
修繕価格の3/4
(上限1万円)



生ごみ処理容器 (コンポスト容器、EMぼかし容器)

購入

1世帯2基まで
1基あたり購入価格の3/4
(上限1基あたり1万円)

修繕

1世帯2基まで
1基あたり修繕価格の3/4
(上限1基あたり1万円)



★ リサイクル補助金交付制度

交付対象

行政区単位で行っている資源物回収。

回収方法

区民会館などに集められた資源物をその種類(ビン・ペットボトル、カン、古紙類)ごとに月一度ずつ市の委託業者が回収します。

補助金額

資源物 1kg当たり5円の補助金を交付します。

★ 資源物回収事業補助金交付制度

交付対象

子ども会、シニアクラブなどの団体で行っている資源物回収。

交付条件

資源物回収活動を年間2回以上実施する団体です。

補助金額

定額 1万円(年度内1回)と売却額の2分の1の補助金を交付します。

牛久市は
**「都市鉱山からつくる！
みんなのメダルプロジェクト」**
に参加します。

2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルに、不要になった小型家電に含まれるリサイクル金属が活用されることになりました。

東京2020組織委員会が主催するこの取り組みに、全国の自治体が、小型家電の回収で協力することになり、本市もプロジェクトへ参加することになりました！

回収ボックス設置場所市内11カ所

- ①市役所 ②中央生涯学習センター
- ③三日月橋生涯学習センター
- ④奥野生涯学習センター
- ⑤中央図書館 ⑥総合福祉センター
- ⑦ひたち野リフレ
- ⑧エスカードプラザ
- ⑨牛久運動公園体育館
- ⑩かつばの里生涯学習センター
- ⑪牛久クリーンセンター

回収品目小型家電リサイクル20品

- 携帯電話／公衆用PHS端末
- デジタルカメラ／ビデオカメラ
- 据置型ゲーム機／テレビ等リモコン
- 携帯音楽プレーヤー／携帯用テープレコーダー
- 携帯用ゲーム機／電子体温計／電子辞書
- 携帯用CDプレーヤー／携帯用MDプレーヤー
- ICレコーダー／電気カミソリ
- ETCユニット／配線ケーブル／電話機
- ACアダプター／充電器

